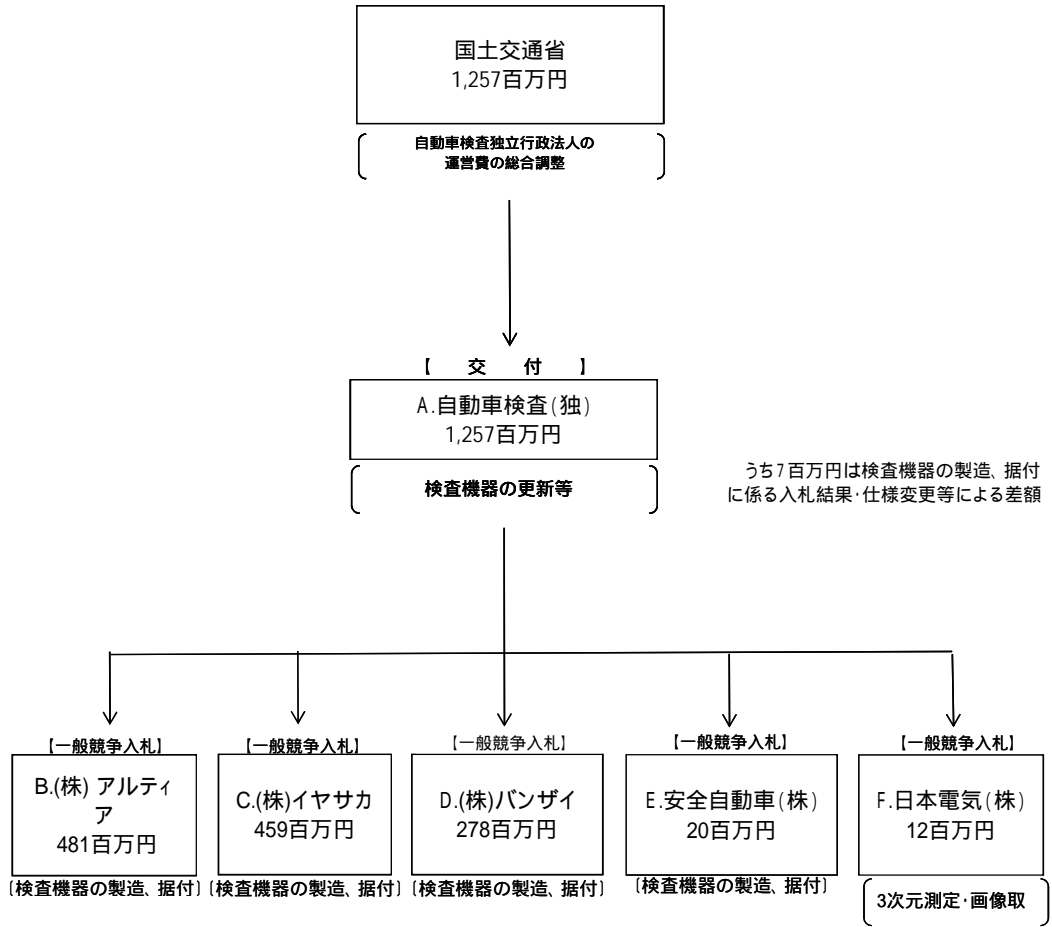


行政事業レビューシート (国土交通省)								
<b>事業名</b>	自動車検査独立行政法人運営費交付金		<b>担当部局</b>	自動車局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成14年度 (第3期中期目標期間：H23-27年度)		<b>担当課室</b>	整備課		課長 島 雅之		
<b>会計区分</b>	自動車安全特別会計 (自動車検査登録助定)		<b>施策名</b>	5(18)自動車の安全性を高める				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	独立行政法人通則法第46条		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	道路運送車両法に基づく自動車の安全・環境基準への適合性審査に必要な検査機器を整備する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	機器老朽更新等に係る審査経費を中期計画に応じた必要経費を考慮して積算して交付する。 なお、交付額は中期計画の進捗状況や保安基準の改正状況等に鑑み、毎年度の予算編成過程において決定している。							
<b>実施方法</b>	直接実施		業務委託等	補助	貸付	その他		
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	1,544	1,373	1,257	892	883	
		補正予算	-	-	-	18		
		繰越し等	-	-	-	-		
	計	1,544	1,373	1,257	910	-		
	執行額	1,544	1,373	1,257				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)	
	受検者等の事故の削減		成果実績	-	17%減	28%減	30%減	H22年度比 10%減
			達成度	%	-	-	-	
	検査機器の故障等によるコース閉鎖時間の削減		成果実績	-	17%減	20%減	15%減	H22年度比 10%減
		達成度	%	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	確実に審査を実施できるよう審査機器の更新等が必要な箇所を適切に処置。 箇所数は、機器の老朽更新等に係るものに限る。		活動実績 (当初見込み)	箇所	26	30	34	( ) ( )
<b>単位当たりコスト</b>	37(百万円/1箇所)		算出根拠	単位当たりコスト = X / Y X:平成22年度執行額:1,245百万円 (執行額は機器の老朽更新等に係るものに限る。) Y:平成22年度における箇所数(34箇所)				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	自動車検査独立行政法人運営費交付金	892	883	競争性のある契約方式の徹底活用によりコスト縮減を図った。				
	計	892	883					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	自動車の基準適合性審査は、自動車の安全確保及び環境保全を図るために必要であり、道路運送車両法に基づき実施している。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	検査法人が実施する基準適合性審査は、全国を移動する自動車に対し、全国一律レベルで実施する必要があり、国の施策として確実に実施することが必要である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	限られた予算の範囲で効率的且つ効果的な執行を行っている。
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	検査法人は、道路運送車両法に基づき自動車の検査を実施する唯一の機関である。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	今中期計画期間は、前中期計画期間と比較して年平均で約35%予算を縮減している。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	自動車安全特別会計(自動車検査登録勘定)は、受益者である自動車ユーザーからの検査・登録手数料を財源としている。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	中間段階での支出はない。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	使途は、検査業務に必要な不可欠な施設等の整備に限られている。
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	検査法人は、自動車の検査を実施する唯一の機関であり他の手段はないが、予算の縮減に努めている。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	中期目標・計画に従って業務運営が行われており、その達成状況は、独法評価委員会で評価されている。
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見合ったものとなっている。
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	検査法人は、道路運送車両法に基づき基準適合性を審査する唯一の機関であるため類似の事業はない。
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	整備された施設等は検査業務に必要な不可欠なものである。
点検結果	<p>・自動車検査独立行政法人は、地方検査部等からの整備要望の集約を行い、必要性・優先度の精査を厳しく行ったうえで、限られた予算の範囲内で地方検査部等に対して実施箇所の決定を行っている。</p> <p>・地方検査部等は実施箇所の決定を受け、限られた予算の範囲で効率的且つ効果的な執行を行っている。</p> <p>・自動車検査独立行政法人においては、収入支出管理を厳正に行っており、支出先及び使途の把握は確実になされている。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 機器購入などの際には、引き続き競争性のある契約方式としている。</p>		
	<p align="center"><b>予算監視・効率化チームの所見</b></p>		
現状通り		機器の購入などの際には、引き続き競争性のある契約方式の徹底活用によりコスト縮減を図る。	
<p align="center"><b>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</b></p>			
<p>機器の購入などの際には、引き続き競争性のある契約方式の徹底活用によりコスト縮減を図ることとしている。</p>			
<p align="center"><b>補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</b></p>			
<p>事業仕分け第3弾、事業番号 B-17(2)、自動車検査独立行政法人</p> <p>WGの評価結果 ・抜本的見直し(検査事務を大幅に民間に移管することの検討を含む。)</p> <p>とりまとめ内容 ・車検の検査と登録を一体化するなど、大幅な効率化を図るとともに、独立行政法人での検査・登録料の適正化を図るべき。また車検事務の大幅な民間への移管、軽自動車検査協会との一体的運営・統合を検討し、実施すべき。</p>			

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単位:  
百万円)



A.自動車検査独立行政法人			E.安全自動車(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	検査機器の更新等	1,250	その他	自動車検査用機械器具の製造及び据付	20
その他	入札結果・仕様変更等による差額(不用額)	7			
計		1,257	計		20
B.(株)アルティア			F.日本電気(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	自動車検査用機械器具の製造及び据付	481	その他	3次元測定・画像取得装置の製造及び据付	12
計		481	計		12
C.(株)イヤサカ			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	自動車検査用機械器具の製造及び据付	459			
計		459	計		0
D.(株)バンザイ			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	自動車検査用機械器具の製造及び据付	278			
計		278	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	自動車検査独立行政法人	検査機器の更新等	1257	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数 <sup>1</sup>	落札率 <sup>2</sup>
1	(株)アルティア	自動車検査用機械器具の製造及び据付	481	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

1 入札者数について、支出先に係る契約が複数の場合は[-]とする。

2 落札率については、公表することにより他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため、[-]とする。

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数 <sup>1</sup>	落札率 <sup>2</sup>
1	(株)イヤサカ	自動車検査用機械器具の製造及び据付	459	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

1 入札者数について、支出先に係る契約が複数の場合は[-]とする。

2 落札率については、公表することにより他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため、[-]とする。

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数 <sup>1</sup>	落札率 <sup>2</sup>
1	(株)バンザイ	自動車検査用機械器具の製造及び据付	278	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

1 入札者数について、支出先に係る契約が複数の場合は[-]とする。

2 落札率については、公表することにより他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため、[-]とする。

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数 <sup>1</sup>	落札率 <sup>2</sup>
1	安全自動車(株)	自動車検査用機械器具の製造及び据付	20	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

1 入札者数について、支出先に係る契約が複数の場合は[-]とする。

2 落札率については、公表することにより他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため、[-]とする。

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率 <sup>1</sup>
1	日本電気(株)	3次元測定・画像取得装置の製造及び据付	12	2	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

1 落札率については、公表することにより他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため、[-]とする。